

▶新町内公民館長の皆さん



新たな顔ぶれでスタート

梓川公民館報

就任のごあいさつ

梓川地区町内公民館長会長



海口 直

さわやかな風と新緑の美しい季節となりました。

この度、町内公民館長会長に選任されました、北々条町内公民館長の海口直と申します。諸先輩が務めあげられてきた大役を、同様に遂行する自信はありますが、皆様方にご支援をいただき、努力してまいります。

さて、梓川地区では4月末に大宮熱田神社のお祭りが盛大に行われました。最近では、子供太鼓、若連等が不足し、伝統を継承していくことが、年々難しくなってきたのが実情です。また、梓川地区

の一大行事の一つでもある運動会においても、若い年齢層が不足し、役員が大変苦労しているなど、地域の中でも様々な課題を抱えています。築き上げられた伝統を守っていくことは、非常に重要なことであり、これらの課題に向き合いながら、時代に即した内容に見直しを図っていくことが必要であると考えます。

私は、アルウィン（長野県松本平広域公園総合球技場）の一体感に魅了され、JFLの頃から松本山雅FCを応援しています。サッカー不毛の地が今ではすっかり地域に密着しています。公民館活動も共感する部分があると思いますが、更に盛り上がっていくことを期待いたします。

最後に地域の皆様に公民館活動への一層の協力を要望し、微力ではありますが、精一杯努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

あずさっ子みまもり隊紹介式



5月17日（水）に梓川小学校において、あずさっ子みまもり隊の紹介式が行われました。みまもり隊は、子どもたちの登下校を中心に通学路や

あずさっ子みまもり隊 ボランティア募集

保護者、地域の中から「子どもを見守り、地域で子どもを育もう」ということに賛同していただけるボランティアの方々を随時募集しています。現在、22人の方が地域で活躍しています。

目的
交通事故、川の事故に子どもが巻き込まれにくい地区にすること。
不審者等が犯罪をしにくい地区にすること。
(=安心・安全のまちづくり)

活動内容
①見守り。登下校時に通学路であいさつや声かけ。
②身の周りで不審者(車)等を見かけたときは、警察への通報、学校へ情報提供。
防犯パトロール、交通指導、補導はしません。
『見守る』というスタンスでのボランティア活動です。

お問合せ 梓川公民館 TEL 78-3000



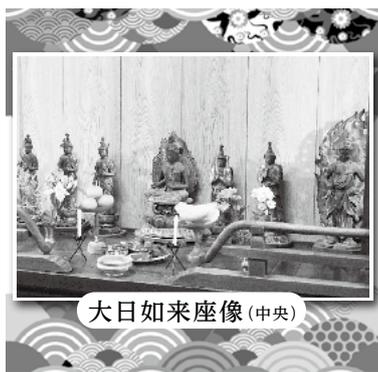
登下校をしましょう。」と児童に伝えました。児童は最後に、校長先生の号令に続いて「よろしくお願ひします」と元気よくあいさつをして終了しました。

平成29年度 梓川公民館役員紹介

本年度公民館事業を担う梓川公民館委員・町内公民館役員の皆さんです。

町内公民館	館長	副館長	体育委員	文化委員	広報委員	運営委員
八景山	輪湖 久人	金井 信一	小松 文博	河越 崇宏	西岡 宏	地区町内公民館長会長 ◎ 海口 直
花見	小山 正敏	奥原 陽平	山田 忠史	萩原 庸	齋藤 洋一	地区町会連合会長 小松 秀隆
上野	輪湖 和人	柴田 健吾	古旗 亮太	小松 雄大	水田 徹	地区体育協会会長 齋藤今朝義
丸田	萬井 増博	金井 啓祐	宮下 忠	○松田 孝司	齋藤 重明	松本市スポーツ推進委員 梓川地区会長 福田 香里
上立田	○山口 高史	杉本 郁夫	武田 繁	松田登喜雄	○浅治 功	地区子ども会育成会代表 西村 順典
下立田	田多井俊夫	二木 紀明	武田 真悟	田多井和明	西牧 晃代	地区福祉ひろば会長 地区社会福祉協議会長 上嶋 一司
杏	倉田 正樹	金井 伸	金井 直哉	丸山 貴史	田々井 智	梓川小学校長 宮坂 俊之
こまち	山口 晃		大藪 圭二	山田 仁	中野 剛	梓川中学校長 板花 利美
角影台	竹下 登	小島 一成	横内 稔	横山 雅史	◎大日方 亨	梓川東保育園長 石川 直子
上角	◎森 俊彦	森 司	川村 則和	宮澤 徹也	桑原 祐治	梓川西保育園長 藤野 園子
下角	小松 晃	倉科 歴	高橋 伸吉	千葉 勝智	丸山 恵一	梓川小学校PTA会長 永本 春美
小室	佐原 茂	丸山 久武	◎佐原 基親	◎佐原 昭一	藤村 賢一	梓川中学校PTA会長 宮坂 明宏
北々条	◎海口 直	村瀬弥寿男	○二木 克之	海口 直志	村瀬 純	地区民生児童委員協議会長 中沢 幸徳
南北条	西村 茂嗣	二木 光治	二木 俊司	川上 條司	二木 光治	地区高齢者クラブ連合会長 青木 厚
大久保	小松 浩	加藤 彰	中田 充俊	長崎 直樹	今井 利幸	梓川児童センター館長 田野口さつき
北大妻	池田 健太	上嶋 弘明	竹村 政彦	細田 昌孝	青木 朗	学識経験者 森 鉄雄
上大妻	宮本 保幸	逸見 孝彰	逸見 政彦	青木 勝利	青木 充夫	
南大妻	降旗 孝二	林 繁	辻 善弘	関 規行	丸山 彰宣	
横沢	上嶋 省二	江口 信晴	竹内 雅幸	丸山 洋	上嶋 幸恵	
氷室	田中 謙吉	百瀬 育朋	井出 享	氷室 藤市	廣原慎太郎	
岩岡	◎中笠 善夫	細田 良継	宮坂 真之	牛田 修平	木船 計明	

(◎会長又は委員長 ○副会長又は副委員長 ◎理事 敬称略)



大日如来座像(中央)

上大妻集落センター西側にある「観音堂」において4月17日(月)にお観音様例祭が行われた。ここに安置されている仏像は昔、現在の正覚寺の位置にあった明治5年廃寺の元祿の時代の開基と思われる「旧南龍山長松寺」の本尊大日如来座像や不動明王、観音菩薩像五体であり、平成2年に上大妻町会によって建立された本観音堂に遷座されたものと梓川村誌にある。同町会では古い歴史を持つお観音様の例祭を春と秋(秋は10月17日)の年2回、町会有志参列のもと行っている。先日の例祭ではお堂脇に咲き誇る桜の花が春の嵐と雨に打たれる中、廃仏毀釈などの時代の變遷に思いをはせつつ参列者一同お念仏を繰り返した。

お観音様の歴史

皆さんは、「地域包括ケアシステム」をご存じですか。高齢者が「住み慣れた地域」で介護や医療、生活支援サポート及びサービスを受けられるよう市区町村が中心となり、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」を「包括的に」体制を整備していくという方針のことです。具体的には「必要な治療が終われば、できるだけ早く地域での生活に戻る」「介護が必要でも出来る限り、住み慣れた地域で生活する」「そのための支援に民間やボランティアが従来以上に活躍する」等です。急速に進んでいる高齢化に対して国が推進しています。来年度は医療・介護制度の大きな見直しがなされ、診療報酬と介護報酬の同時改定が行われます。施設から、在宅・地域へとという流れがより鮮明になり、市区町村と地域住民による自主的な地域づくりが求められると思われまます。私たちは、少子高齢化時代においても安心して過ごすことができる社会の実現に向けて、重要な局面を迎えているのかもしれない。

雑記帳

